

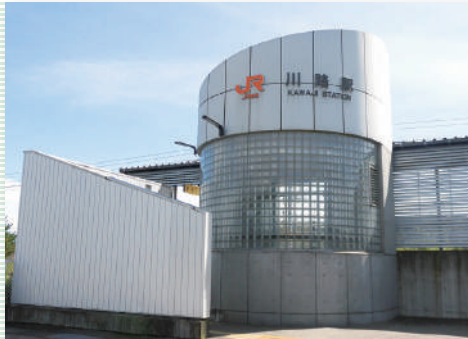
川路(かわじ)

飯田市

【開業】昭和2年 【R4 一日平均乗車人員】102人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/6547.html>



天竜川に面した低地帯にあり、昭和36年の「^{きふろく}三六災害」のほか、何度も水害に遭ってきた駅です。その後、線路の付け替えなどを経て建設された現在の駅舎は、近代的なデザインとなっています。



時又(ときまた)

飯田市

【開業】昭和2年 【R4 一日平均乗車人員】97人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/6785.html>



「天竜川和船下り」の拠点である「リバーポート時又」は、駅から南へ徒歩5分程の場所にあります。時又地区では、例年3月には勇壮な神事「時又初午はだか祭り」が、8月には「飯田時又灯ろう流し」が行われます。



駄科(だしな)

飯田市

【開業】昭和2年 【R4 一日平均乗車人員】132人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/6906.html>



駅のホームからは、凍み豆腐などの大豆加工食品を製造・販売する「旭松食品」の工場が見えます。また、駅近くには「輝山会記念病院」があります。



毛賀(けが)

飯田市

【開業】昭和2年 【R4 一日平均乗車人員】87人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/6965.html>



国道151号が近くを通る、のどかな住宅地の中にある無人駅です。駅のホームからは、飯田市立緑ヶ丘中学校の校舎が見えます。



伊那八幡(いなやわた)

飯田市

【開業】大正15年 【R4 一日平均乗車人員】177人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/7148.html>



駅の近くを通る国道151号沿いには、八幡商店街が広がっています。

駅名の由来ともなっている「鳩ヶ嶺八幡宮」が、駅から西へ徒歩5分程の場所にあります。

鳩ヶ嶺八幡宮は、1062年に京都の石清水八幡宮の分霊を祀ったのが始まりといわれています。

本殿には、鎌倉時代の作で、国の重要文化財「誉田別尊坐像」が祀られています。



下山村(しもやまむら)

飯田市

【開業】大正15年 【R4 一日平均乗車人員】36人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/7334.html>



住宅密集地の中にある無人駅です。

天竜峡方面(南)から来ると、この駅から飯田市の中心部に入ってきます。

飯田市の中心部では、飯田線の線路は大きなカーブを描きます。そのため、下山村駅から5つ先の伊那上郷駅は、飯田線だと6.4kmですが、直線距離では約2kmとなります。



鼎(かなえ)

飯田市

【開業】大正15年 【R4 一日平均乗車人員】588人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/7893.html>



昭和59年に飯田市と合併した旧鼎町の中心駅でしたが、現在は無人駅となっています。

近くの飯田OIDE長姫高校と下伊那農業高校の生徒が、通学に多く利用しています。

千代駅と並んで、縁起の良い駅名としても知られています。駅員がおり、窓口が開設されていた頃は、「願いが叶え(鼎)られます」というキャッチフレーズで、記念の入場券が販売され、人気を博していました。



切石(きりいし)

飯田市

【開業】大正15年 【R4 一日平均乗車人員】94人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/7969.html>



飯田線の駅の中で、最も急なカーブに設置されている駅です。

ホームと電車の間が広がるため、なるべくホームの両端から乗降するように注意書きがあります。

駅北側には、天竜川の支流・松川を渡る鉄橋があります。



飯田(いいだ)

飯田市

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】617人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/8230.html>



飯田線の路線名になっている中核駅で、飯田市の中心駅でもあります。

また、特急「伊那路」の発着駅です。飯田市の特産「りんご」をモチーフとした赤い駅舎が特徴的です。

駅の正面から、飯田市街地を貫く中央通りが延びています。

令和5年8月に飯田駅開業100周年を迎えました。



駅舎内には、駅観光案内所があります。

駅前には、飯田市出身で、飯田線開通に大きな貢献をした伊原五郎兵衛氏の功績を称える頌徳碑があります。

桜町(さくらまち)

飯田市

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】102人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/8803.html>



駅名のとおり、ホーム裏に桜の木があり、その他にも駅周辺に花が植えられていて、利用者の目を楽しませている駅です。駅舎入口には、桜の花びらをかたどった駅名の看板があります。



駅から西へ数分歩くと「外縣大宮諏訪神社」や「並木通り」があります。



並木通りは、昭和22年の飯田大火の後、防火帯道路として整備されました。その後、桜やりんごの木が植えられ、今年では一年を通して各種お祭りやイベントが行われるなど、飯田市のシンボリックな通りとして親しまれています。



外縣大宮諏訪神社

桜満開の並木通り

伊那上郷(いなかみさと)

飯田市

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】609人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/9485.html>



平成5年に飯田市と合併した、旧上郷町にあった唯一の駅です。近くの飯田高校と飯田女子高校の生徒が、通学に多

く利用しています。駅から南へ徒歩10分程の場所に「飯田市考古博物館」や女流日本画家・浅井秀水氏の美人画を展示する「秀水美人画美術館」があります。



ホームから見える風越山

飯田市考古博物館

元善光寺(もとぜんこうじ)

飯田市

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】185人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/10227.html>



駅から西へ徒歩7分程の場所にある、名刹「元善光寺」の門前駅です。長野市の善光寺の御本尊が、最初に安置されたことから元善光寺と呼ばれています。元善光寺からさらに西へ300m程行くと「麻績の里舞台桜」や「旧座光寺麻績学校校舎」「竹田扇之助記念国際系操り人形館」などの観光スポットがあります。

(半八重枝垂れ紅彼岸桜)
麻績の里舞台桜



県宝 旧座光寺麻績学校校舎



「御開帳」期間中の元善光寺

下市田(しもいちだ)

高森町

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】71人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/10274.html>



駅の目前には、国道153号が通っています。駅から北東へ50m程行くと、県天然記念物で樹齢600年といわれる「下市田のヒイラギ」があります。



市田(いちだ)

高森町

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】355人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/10632.html>



駅近くを流れる天竜川の兩岸にある高森町と豊丘村の玄関口となっている駅です。業務委託駅で、一部の曜日を除き、朝夕の時間帯のみ窓口が営業しています。



下平(しもだいら)

高森町

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】98人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/10906.html>



駅は田園風景の中にありますが、100m程東を通る国道153号沿いには、大型商業施設が並んでいます。また、駅の南には「松木渡場の桜」と呼ばれる桜並木があります。



山吹(やまぶき)

高森町

【開業】大正12年 【R4 一日平均乗車人員】64人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/11340.html>



ホームには、駅名にちなんでヤマブキが植えられており、5月頃に黄色い花を咲かせます。駅から南西へ100m程行くと、駅と同じ大正期に建設されたJRの山吹変電所があります。



伊那大島(いなおおしま)

松川町

【開業】大正11年 【R4 一日平均乗車人員】285人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/11602.html>



松川町中心部の段丘地帯にある駅で、同町民のほか近隣の大鹿村や中川村の住民も多く利用しています。業務委託駅で、夜間を除き窓口が開設されています。急カーブが連続する、隣の上片桐駅までの区間は、左右に中央・南アルプスの二大山脈を望むことができます。



上片桐(かみかたぎり)

松川町

【開業】大正9年 【R4 一日平均乗車人員】295人
<http://blog.nagano-ken.jp/shimoina/nature/12136.html>



南信州(下伊那郡)最北の駅です。駅前には商店が並び、駅から北東へ50m程行くと、大高日神社や上片桐村役場跡の碑があります。松川高校の最寄り駅で、同校の生徒が通学に多く利用しています。

